



特設第2分団長 辻村 利幸さん (下島)



特設第2分団が指導にあたった合同点検 (7月8日(日)に中家村で実施)

消防団と地域、町が同じ地図で消防・防災施設を管理し、消防・防災施設の番号が統一されたことで、災害時、三者が連携しやすく、スムーズな消火活動が期待できます。

消防・防災施設 合同点検の実施

消防・防災施設の合同点検とは 地域に点在する消火栓や消火器などの消防・防災施設を消防団と自治会が年に一度必ず合同で点検を実施することとしました。消防団と自治会、町の三者が平成29年度に作成した共通の地図を持ち、共通の情報に基づいた管理等を行います。

地域の防災力を高める

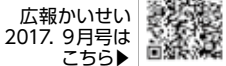
火災の際、消防隊が到着するまでの初期消火が重要です。最初にご近所などの地域の皆さんが火災に気が付く場合が多いため、初期消火に必要な施設を消防団と自治会が一緒に点検し、使用できる人が一人でも多くなることで、地域の防災力が高まります。万が一、火災が発生した場合でも、慌てずに対処できるように自宅の近くにどのような消防・防災施設があるか把握しておく必要があります。

消防団・地域・町が連携

大規模災害時の混乱した状況下では、それぞれがいかに連携できるかが重要です。消防団と地域、町が同じ地図で消防・防災施設を管理し、消防・防災施設の番号が統一されたことで、災害時、三者が連携しやすく、スムーズな消火活動が期待できます。

感震ブレーカーの設置を推進

感震ブレーカーとは 地震発生時など強い揺れがあると自動的にブレーカーを落として電気の供給を止めます。(詳しくは、2017年9月号をご覧ください。) 町では自治会と協働して、各家庭への感震ブレーカー設置を推進しています。



地震発生!

感震ブレーカーの仕組み(星野さん製作の模型を参考)



宮台防災部長 星野 進さん (宮台)

地域でやるから意味がある 宮台自治会では、感震ブレーカーの設置費を自治会で負担し、希望する皆さんに配布しています。また、わかりやすく取り付け方を説明するために、感震ブレーカーの模型を製作するなどして、普及に力を注いでいます。感震ブレーカーは、数件のお宅に設置しただけでは効果が小さく、地域全体で取り組むことで通電火災や延焼を防ぐなどの大きな効果を発揮します。 宮台では、自治会加入世帯の約70%が感震ブレーカーを設置しています。 今後の課題は、未設置の世帯や自治会未加入世帯に対して、どのようにして設置を呼び掛けていくか町と共に対応を考えていきます。通電火災の怖さや地域全体で取り組むことの大切さを、町と連携して伝えていきたいと思っています。



生き埋めや閉じ込められた人の 約6割を家族や隣人が救出している*

※平成7年兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)における火災に関する調査より抜粋

平成29年度に実施された防災訓練(河原町自主防災会)

阪神・淡路大震災の際、倒壊した家屋等に閉じ込められた人の多くは、家族や近隣住民の方々など地域の力によって救出されました。

災害時に地域で助け合うためには、日頃から住民同士が繋がりを持ち、災害を想定した訓練を共同で実施することが大切です。今回、地域の防災力を高めるため、町とともに様々な取り組みをする皆さんにお話を伺いました。

その2 地域で備える

広域避難所の開設・運営訓練の充実

広域避難所とは 平成28年度の防災訓練から地域住民が中心となり、広域避難所の実践的な開設・運営を実施しています。広域避難所とは、自治会館等の地域避難所に収容しきれない場合に開設される避難所のことです。

いざという時は自分たちが動く

昨年度、広域避難所の開設・運営に携いました。広域避難所では、自衛隊による炊き出しなど地域避難所での防災訓練よりも大規模で実践的な訓練をしました。 この訓練を行うまでは、町が広域避難所を開設・運営するものだと思っていましたが、大規模災害の場合、町と地域、避難者の皆で協力して開設・運営にあたる必要があるということが分かりました。いざという時、ただ待つのではなく自分たちから積極的に動いていきたいと思っています。

パレットガーデン副自治会長 野口 耕三さん (パレットガーデン)



地域防災リーダーの認定

地域防災リーダーとは 災害発生時や防災訓練時に自主防災会(各自治会毎に設置される防災組織)を支えるリーダーのことです。町が開催する養成講座を受講し、認定試験に合格した皆さんが地域防災リーダーとして認定されます。

地域の防災を「長い目で」支えたい

日中一人で家にいる同居の母のため、災害時に適切な行動がとれるようになりたいと思い、町の防災講座を受講し、地域防災リーダー養成講座のことを知りました。 自治会では、防災部長や組長が数年単位で交代してしまうため、前年の防災訓練の内容や反省点が翌年にうまく引き継がれないと感じていました。地域防災リーダーとして、防災の視点から長い目で地域に関わり、防災の知識を蓄積し、地域の人に伝え、地域の防災を支えていきたいです。

小島 雪恵さん (上延沢)



9月2日(日)は防災訓練です

今回の防災訓練は相模湾を震源とする大規模な地震が発生したという想定で行います。熊本地震や大阪北部地震の教訓から、地域の特性に合わせた防災訓練の内容となっています。この機会に家族や地域の方々や災害時の備えや行動について、確認しましょう。 各地域の防災訓練場所についての詳細は、8月15日号のお知らせ版で案内します。

環境防災課防災安全専門員の小澤です。防災訓練への積極的な参加をお願いします!



防災について学びたい!という方は... / あじさい講座 「地震に備えて」を受講しよう!

地域や団体で集まる機会に、防災・減災を学びませんか?町職員が、講師として皆さんの所に出向き、地震への備えについてお話しします。詳しくは町HPをご覧ください。



町HPはこちら▶